

周防監督と語る映画 『カツベン!』

1984年のデビュー以来、日本映画界を牽引する周防正行監督をお招きし、無声映画期の弁士を題材にした最新作『カツベン!』(2019)を中心に、監督としてのご経験をお話いただきます。
生き生きとした若者たちの群像から、刑事裁判など幅広いテーマを取り上げてきた周防監督のお話を通じて、日本映画の歴史と未来を考えます。

日時

2020年 **12月4日** (金)
15:00~16:30

開催方法

オンライン (Zoom)

参加者には事前に招待URLを送付いたします。

定員

学生・140名 一般・30名

対象

どなたでも参加いただけます (要申込・先着順)

開催

名古屋外国語大学現代国際学部
世界教養学部
名古屋外国語大学ワールドリベラルアーツセンター共催

講師

周防正行

映画監督・アルタミラピクチャーズ

1956年生まれ。東京都出身。立教大学文学部仏文科卒。1984年、『変態家族 兄貴の嫁さん』で監督デビュー。1989年、本木雅弘主演『ファンシイダンス』で一般映画デビュー。1992年の『シコふんじゃった。』では学生相撲の世界を描き、第16回日本アカデミー賞最優秀作品賞をはじめ、数々の映画賞を受賞。1996年の『Shall we ダンス?』では、第20回日本アカデミー賞 13部門独占受賞。2007年の『それでもボクはやってない』では、刑事裁判の内実を描いてセンセーションを巻き起こした。最新作は、今からおよそ100年前の無声映画の時代と、活動弁士の活躍を描いた『カツベン!』。

©『カツベン!』製作委員会



■ 申込み方法

申込:準備の都合がありますので、事前のお申込みをお願いいたします。右記のQRコードを携帯電話やスマートフォンで読み込んでいただくか、下記URLをパソコン等で直接入力して、申込みのフォームに必要事項を入力、送信してください。

<https://req.qubo.jp/wlac/form/20201204>



応募締切 11月27日(金) 17:00

※応募者多数の場合は先着順とさせていただきます。定員になりましたら締切日前でも募集締切とさせていただきます。

イベントの開催にあたって

- ☐ 本イベントは、リアルタイム配信 (Zoom) でのみで行われます。
- 当日、大学でのイベントの聴講はできませんので、ご了承くださいませようお願いいたします。
- ☐ 本イベントにおける写真撮影や録音はご遠慮いただきますよう、お願い申し上げます。
- イベント中は記録用としてZoomのレコーディングを行います。
- 本学ウェブサイトやその他の刊行物に、写真が掲載されることがありますのでご了承ください。
- ☐ Zoomの利用方法に関するお問い合わせにつきましては、ご対応いたしかねます。
- 各自、事前に確認をしていただきますようお願いいたします。
- ☐ 準備の関係上、イベント当日の電話対応はいたしかねます。ご了承くださいませと幸いです。

